令和元（２０１９）年度　学校評価報告書

豊能町立東能勢小学校

【本文中の％数値について】

◇各項目の本年度と昨年度，一昨年度の「とてもそう思う」と「だいたいそう思う」の合計である。

◇保護者集計は（　）に，児童集計は＜＞に，教職員集計は≪≫に入れた。いずれも（**本年度**，昨年度，一昨年度）の順とした。

学校評価Ⅰ

① 設定目標 【ねらい】	自尊感情を高め合う集団を育成する。 【情報を伝える。説明する。考えや思いを聞く。】 ◎教育の方針や活動状況を児童・保護者・地域の人々に適切に伝える。 ◎児童・保護者・地域の人々の願いや思いを受け止め，教育活動に反映させる。
② 本年度の 取り組み	○学校教育自己診断による自己評価の実施　○学校協議会による学校評価の実施 ○学校だより，保健だより，学級通信　○よくわかる！東能勢小学校 ○全国学力・学習状況調査結果報告　○PTA 総会での紹介　○参観授業　○学年発表会　○海洋学習・修学旅行説明会 ○入学説明会　○家庭訪問　○個人懇談　○ホームページの運営　○見守り隊結成式・中間ふり返り会　○PTA との協働 ○学校だよりの各自治会への配布
③ 学校教育自己診断・授業評価等定量的評価及び定性的自己評価内容	◇関係するアンケート項目は，以下の3項目である。 (1)学校は，教育方針や指導の様子を分かりやすく伝えている。 （**７４％**，81%,85%）＜--%，--%,--%＞≪**７８％**，91%,89%≫ (4)学校は，保護者や地域の人たちと協力して教育活動を進めようとしている。 （**８０％**，86%,90%）＜**９１％**，95%,91%＞≪**６４％**，84%,73%≫ (10)学校は，子どものことで困った時，相談にのろうとしている。 （**７８％**，83%,83%）＜**７９％**，85%,82%＞≪**９３％**，100%,88%≫ 全ての項目において，肯定的評価が減少している。 本年度も，環境整備作業や学習サポート，登下校時の見守りなど，学校の様々な教育活動において，保護者の方や地域の方のお力をお借りすることができた。保護者・地域・学校が連携を図りながら今後も教育活動が進められるよう，通信やホームページ等を活用し，児童の活動状況や様子，ご協力くださっている方々の情報を積極的に発信していきたい。また，保護者に学校での日常の様子を知っていただくことができるように，授業参観だけでなく，オープンスクールも検討していきたい。 (10)の項目においては，第一に，児童と教師が信頼関係を築くことが重要であると考える。教職員が一丸となり教育活動に取り組み，児童一人一人と向き合う時間を大切にし，信頼関係を築いていきたいと考える。そして，保護者が不安感・不信感を抱かぬよう，各家庭への早期連絡・丁寧な対応を心がけていきたい。
④ 学校関係者評価（学校協議会等からの提言）	児童・保護者とも肯定的な評価が昨年度より低下している。学校は，行事等を準備，開催する中で，児童が興味や達成感を得られるように努力されている。しかし，（４）（１０）のように保護者，児童と教職員の評価に差が出ている項目は，そのような学校の取り組みが伝わっていないように思われる。 学校は，児童・保護者との信頼関係を深めるため，保護者と連絡を密にとり，児童の成長を保護者とともに支えてほしい。

学校評価Ⅱ

① 設定目標 【ねらい】	自尊感情を高め合う集団を育成する。 【仲間をつなぐ。集団を育てる。地域連携を深める。】 ◎思いを仲間と共有する。お互いのよさを認め合う。集団・社会のルールを大切にする児童を育てる。 ◎人権教育をすべての教育活動の基盤において取り組む。 ◎地域の方との交流を大切にし，豊かな文化の育成をめざす。 ◎義務教育9年間の子どもの育ちを見守り，支援する。
② 本年度の取り組み	○縦割り清掃　○学級・班遊び　○朝レク　○長縄大会　○社会見学　○学年発表会　○運動会 ○海洋学習　○修学旅行　○縦割り仲よしタイム　○つながりタイム　○わくわくKID'S　○遊びの出店　○地域探検 ○米づくり　○昔遊び○専門部・クラブ活動　○園小交流会　○小中合同研修会　○人権参観　○人権講演会 ○中学校給食・授業・クラブ体験　○平和登校日　○地域施設との交流　○学級通信の発行 ○生活アンケート・いじめ体罰アンケートの実施　○地域の方からの聞き取り　○青育協への参画とミニスポーツ大会運営協力
③ 学校教育自己診断・授業評価等定量的評価及び定性的自己評価内容	◇関係するアンケート項目は，以下の5項目である。 (2)子どもは，楽しく学校生活を送っている。 （**８７％**，91%,87%）＜**７５％**，80%,76%＞≪**５０％**，75%,78%≫ (3)学校は，児童が協力し合って取り組む機会を持ち，「つながり」を育んでいる。 （**８４％**，86%,94%）＜**８５％**，86%,78%＞≪**６４％**，84%,73%≫ (5)学校は，こども園や中学校との連携を効果的に進めようとしている。 （**７８％**，77%,90%）＜**--％**，--%,--%＞≪**５７％**，42%,78%≫ (11)学校は，いじめのない仲間づくりに取り組んでいる。 （**６６％**，75%,75%）＜**８３％**，90%,90%＞≪**６４％**，88%,83%≫ (13)子どもたちは，あいさつしたり感謝の気持ちを伝えたりしている。 （**６２％**，73%,80%）＜**８１％**，90%,91%＞≪**７８％**，92%,89%≫ 全ての児童にとって，学校は「楽しい」ところであってほしいと願っている。しかし(2)の項目において，肯定的回答が保護者も児童も減少しており，教職員も大きな問題意識をもっている。学校としては，子どもたちの「つながり」が育まれるように，授業や行事等を通し「仲間づくり」の取り組みを進めてきたが，日常的に子どもたちの暴言や暴力行為が起こっている現状がある。いじめや暴言・暴力のない，児童が安心して過ごせ，楽しい学校となるよう，教職員が指導を一貫し，児童の危険サインを見逃さず，適切な早期対応を行い，規律ある学校としていきたい。 (13)の挨拶についても，児童が楽しく学校に登校できるようになれば，気持ちのよいあいさつが進んでできるようになると考える。 (5)の園小中連携については，さらに効果的な取り組みとなるよう，ねらいを明確にし，計画的・継続的に進めていきたい。
④ 学校関係者評価(学校協議会等からの提言)	「学校が楽しい」と答えている児童が多く安堵している。一方，教職員の評価は低い。これは，学校生活をもっと楽しんでほしいという願いからの数字だと思う。 児童の暴言については，学校から聞いてはいたが，実際に目の当たりにする機会があり，衝撃を受けている。暴言や暴力行為は，学校だけの問題ではなく，ご家庭での生活から影響を受けていると考えている。発した言葉が他人を傷つけていると気づいておらず，相手の気持ちを考えて話すことができていない。 家族や先生，慣れ親しんだ仲間だからこそ，まず，あいさつを徹底し，相手を尊重して気持ちを伝えあうことのできる人になってほしいと願う。

学校評価Ⅲ

① 設定目標 【ねらい】	自尊感情を高め合う集団を育成する。 【学習を組織する。意欲を育てる。】 ◎学力の向上をめざし，学習における基礎・基本の定着をはかる。 ◎教育課程の実施状況に関する自己評価に関わる研究を進める。
② 本年度の取り組み	○ﾃｨｰﾑﾃｨｰﾁﾝｸﾞでの授業　○少人数分割授業　○習熟度別授業　○漢字検定 ○自学自習の取り組み　○補充学習（放課後学習・夏の学習室）　○朝読書活動 ○読書感想文コンクール　○家読の推進　○修学旅行　○社会見学　○芸術鑑賞会 ○授業スタンダード（約束事の統一）の確立　○授業力向上校内研修　○校外での研修・研究活動への参加 ○町教委の学校訪問　○全国学力学習状況調査結果の分析　○学力診断テストの実施と分析 ○授業アンケートの実施　○校長・教頭による授業評価と指導
③ 学校教育自己診断・授業評価等定量的評価及び定性的自己評価内容	◇関係するアンケート項目は，以下の3項目である。 (7)学校は，子どもたちの学力を高めるためにしっかり取り組んでいる。 （**５９％**，71%,72%）＜--**％**，--%,--%＞≪**６４％**，83%,83%≫ (*)算数の授業は，よくわかる。＜**８３％**，87%,87%＞ (*)国語の授業は，よくわかる。＜**８６％**，91%,88%＞ (9)通知表の評価や記録は，適切でわかりやすい。 （**７７％**，85%,80%）＜**８３％**，89%,82%＞≪**７１％**，92%,83%≫ (12)学校は，学習や生活のきまりをしっかり指導している。 （**７５％**，84%,86%）＜**９１％**，95%,93%＞≪**６４％**，91%,94%≫ (7)の項目より，保護者の学力の向上に対する肯定的回答が落ち込んでいることについて，深刻に受け止める。今年度は，「国語科」の授業研究に取り組み，授業改善を進めてきた。児童の学力向上のためには，教員の授業力向上が欠かせない。今後も継続し，研修・研鑽を積んでいきたい。また，学校として，「東のせ学びのスタンダード（学習規律)」を徹底していくこと，「とよの授業スタンダード」に則った授業を構成し，授業展開を工夫して児童の学習意欲を高め，学力の向上を図りたい。学習環境を整え，児童の学びが確実に積み上げられるようにしたい。 (9)の項目「通知表」については，肯定的評価の割合が減少している。保護者や児童の納得のできる，分かりやすい通知表となるよう，評価方法を研修し，適切な評価をしていきたい。また，個人懇談等で保護者への丁寧な説明も行っていきたい。 (12)の項目については，教職員で共通確認し，指導を継続しているが，徹底はできていない。2学期からは，「時間を守る」「話を聞く」を重点目標とし，全教職員で取り組んできた。子どもたちの意識に変化が見られ始めている。子どもたちが安心して学習に向かい，落ち着いて生活することができるよう，規律の指導を根気よく続け，児童の頑張りを評価しながら，きまりを守って過ごすことの心地よさを感じさせたいと考える。
④ 学校関係者評価（学校協議会等からの提言）	今年度，先生方は，特に「国語科」において工夫され授業に臨んでおられた。ただ，その達成感が6割程度の自己評価であったことが残念である。 児童が「わからない問題に出会ったときに，あきらめる，投げ出す」のは，学習面においてだけでなく，他にも通じるところである。保護者は，それを個人の性格だと決めつけることなく，根気強く取り組めるよう応援してほしい。宿題を家でしてこない児童が増えていると聞く。家で予習，復習をすることは，学習の理解・学力の向上に大きく影響すると考える。学校には，準備物を備えて登校し，学校は学習するところであるという認識を児童・保護者に持ってほしい。

	また，学校生活の重点目標についての取り組みには，効果がみられているようで，ぜひ継続した指導をお願いしたい。

学校評価Ⅳ

① 設定目標 【ねらい】	自尊感情を高め合う集団を育成する。 【心身の健康を増進させる。】 ◎心身の健康・食・安全について考え，スポーツを楽しむ児童を育成する。 ◎命や体を大切にし，生活の向上をめざす児童を育てる。
② 本年度の取り組み	○朝レク　○運動会　○マラソン大会　○ｼﾞｮｷﾞﾝｸﾞﾀｲﾑ　○全校遊び　○夏季水泳　○着衣泳 ○非行防止教室　○縦割り仲よしタイム　○長縄大会　○ほんわか歯みがきタイム　○歯科衛生士によるﾌﾞﾗｯｼﾝｸﾞ指導 ○交通安全教室　○海洋学習　○栄養教諭による食育授業　○見守り活動　○避難訓練（不審者・火災・地震） ○毎朝の登校指導　○防災マニュアルの見直し　○校内安全点検　○登下校ﾒｰﾙｻｰﾋﾞｽ・緊急メールの運営
③ 学校教育自己診断・授業評価等定量的評価及び定性的自己評価内容	◇関係するアンケート項目は，以下の2項目である。 (6)学校は，子どもたちの安全確保に努めようとしている。 （８１％，86%,86%）＜９２％，92%,94%＞≪８５％，100%,95%≫ (8)学校は，子どもたちの体力を高めるために取り組んでいる。 （６６％，78%,79%）＜８３％，86%,85%＞≪５７％，75%,71%≫ (6)の項目について，登下校の安全に関しては，ＰＴＡや地域の皆様にお世話になり見守りを行ってきている。登下校については，登校班が機能していないという問題がある。登校班のあり方については，PTA と協議していきたい。 今後もＰＴＡ，地域の皆様と情報を共有し，必要に応じて行政機関への働きかけも行う中で児童の安全確保を行っていきたい。学校内においては，避難訓練等を通して意識を高めていきたい。また，日常の安全点検の精度を高めることで，児童の安全を確保していきたい。 (8)の項目でも，保護者からの肯定的回答が落ち込んだ。体育の授業での工夫やジョギングタイム等の取り組みを通して，計画的・継続的な体力向上を目指していきたい。また，体育の授業では，運動する楽しさやできた時の喜びを実感できるようにすることを意識して取り組んでいきたい。
④ 学校関係者評価(学校協議会等からの提言)	安全な登下校への取り組みには，地域の方のご協力もあり高い評価となっている。登校班の是非が課題になっていると聞いており，その有用性について十分な話し合いの上で決定してほしい。 今年度はピックアップで下校することはなかったようだが，東能勢小学校が先んじて始めた「ピックアップ訓練」を行っていることで緊急時にはスムーズに実施できていると聞いた。日頃から防災意識を持って行動することの重要性を感じる。 体力向上においては，屋外で遊ぶ経験が少なくなっており，幼少期の経験不足も大きな原因だと考える。簡単なことでも“できること”を見つけることで他の事柄も克服しようとする意欲につながる。保護者が児童と一緒に興味を持って運動に参加できる機会を持ってほしい。

学校関係者評価(学校協議会等からの提言)

テレビやゲームや携帯操作の長時間化がおよぼしている睡眠時間の短さの児童への影響を保護者の方々に認識していただきたい。子どもと日常的に接する時間を増やし，会話の中で子どもたちの状況を知ってほしいと思います。そして，学校からも学校だよりや学級通信で，情報を伝え，保護者と共感し，協力していくことを望みます。

最後になりましたが，今回のアンケート結果を受け，全学年の授業を拝見しました。残念ながら，学ぶ姿勢がみられない学年がありました。現状を知り,今後は改善されることを願い，微力ながら支援してまいります。